

組合だより

第 8 8 号

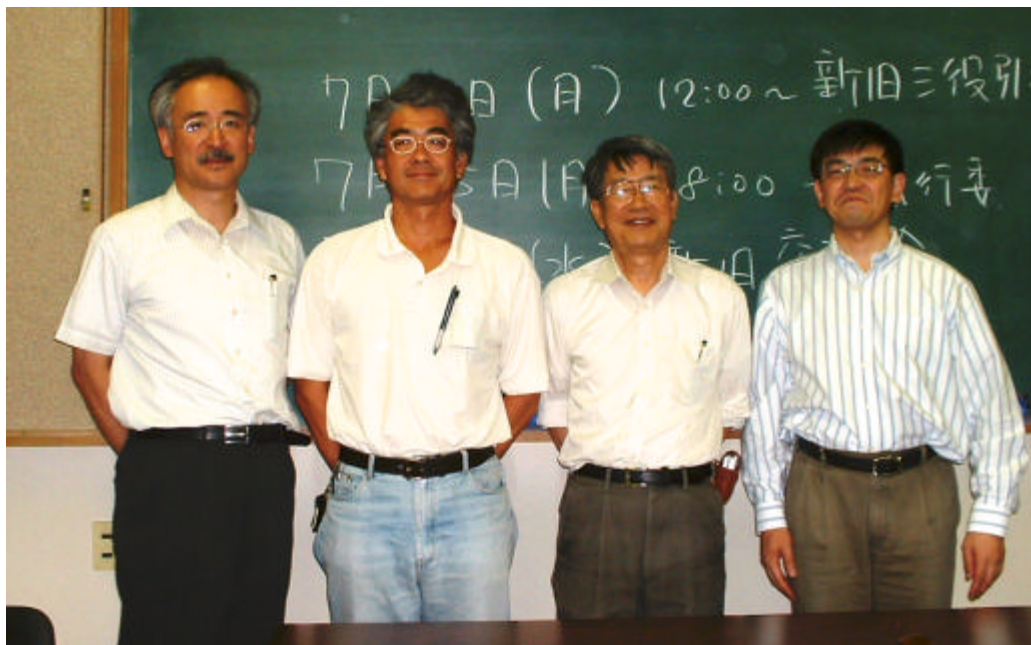
8 月 8 日
2 0 0 5 年

発行所

岡山大学職員組合

〒 700-8530 岡山市津島中 2-1-1
電 話 086-252-1111 (代)
(内線) 7168
直通・F A X 086-252-4148

岡山大学職員組合ホームページ <http://hb4.seikyoku.ne.jp/home/ODUnion/> メールアドレス ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp



吉田委員長（左から 2 番目）と 新三役のみなさん

委員長挨拶

「ない袖」でも知恵を絞って…

岡山大学職員組合委員長 吉田 裕一

新しい委員長として、農学部吉田先生が就任されました。大学法人時代の新しい組合活動の担い手として大いに期待されています。組合ニュースに早速ご寄稿いただきました。

はからずも、今年度執行委員長をさせていただくことになりました。農学部の吉田です。国立大学法人となつて1年余りが経過し、制度上公務員時代にはなかった多くの問題点が、法人化に伴って顕在化してきました。以前から問題視されながら、「見て見ぬふり」だった問題もあると思いますが、労働基準法関係の問題など、新たに岡山大学当局と我々教職員組合とで協議し、解決して行かなければならない事柄も数多く存在します。微力ながら組合員の「幸福」を最終目標として、できるだけ努力をしたいと思えます。二役、執行委員を始め組合員の皆様のご助力をお願い致します。と、申し上げます。

私が98年10月に香川大学から

転任して間もなく8年が過ぎようとしていますが、ようやく岡山の様子に分かり始めてきたところで、このような大役が回ってきました。一応立候補して信任されており、語るべき言葉ではないのですが、戸惑っているというのが正直なところです。

あくまで私の個人的な感想ですが、これまでは組合からの様々な要求に対して、「本省が。。。あるいは「制度上の問題で。。。」という形でなされてきた回答が、独法化後は「要求は理解できるが、ない袖は振れない」という風に変わってきているように思います。文部科学省から交付される運営費交付金が今後も年々削減されるといふ状況の中、学長・大学当局の苦しさも分からないわけではありませんが、組合員の職場として岡山大学を守るためには、少ないお金で何とかして発展的方向に進むという現実路線しかないのかも知れません。しかし、教員にとっては、定員削減に伴う負担増、にもかかわらず減少する研究費、評価、評価と煽られて要求される業績の数とデータベースへの入力、等々明るい話はほとんどありません。

(次ページへ)

2005年度岡大職組役員

役職	氏名	所属単組
執行委員長	吉田 裕一	農学部
副委員長	中富 公一	法文経
"	榊原 精	工学部
"	大嶋 孝吉	理学部
書記長	荻野 勝	環境理工
執行委員	金関 猛	法文経
"	田口 雅弘	"
"	井上 祥治	教育学部
"	熊谷慎之輔	"
"	高柳 俊夫	理学部
"	松田 康弘	"
"	品部 善博	環境理工
"	西野 直樹	農学部
"	平井 儀彦	"
"	佐伯 泰典	附属学園
"	池本 智恵	"
"	荒嶋 康晴	医学部
"	矢田 範夫	"
"	山崎 典子	"
"	酒井 峰男	留学生センター
会計監査委員	村上 賢治	農学部
"	味野 道信	理学部
選挙管理委員	三宅 新三	法文経
"	尾上 雅信	教育学部

(前ページから)
 一方で、代表者委員会で問題
 になっていく「昼休み」の問題
 は、裁量労働制が導入されてい
 る「教員」にとっては、ある意
 味で「関係ない」ことも知れ
 ませんが、「事務系・技術系職
 員」にとつては「時間外勤務手
 当」や「子育て」に絡む大きな
 問題だと思えます。この問題は
 「袖の長さ」にもかかわりませ
 が、我々組合員と当局が知恵を
 出し合えば、よりよい方向に向
 かい得る問題ではないかと考え
 ています。組合員の最大公約数
 を代表して大学当局との折衝を
 担うことのほかに、表向きでは

ない場で、組合員が意見を交換
 し合つて組合員相互、あるいは
 組合員と非組合員の利害を調整
 することも、労働組合としての
 役割の一つだと思えます。その
 意味では、教員・事務職員の組
 織率向上が、「よりよい岡山大学」
 を作り上げていく上で大変重要
 なことではないかと考える今日
 この頃です。
 繰り返しになりますが、組合
 員の皆さんの積極的な日常的な
 活動とご協力をお願いします。



盛り上がった新旧執行委員交流会

7月27日水曜日18時より、
 ピーチユニオン4階レスト
 ランにて、岡山大学職員組
 合の新旧執行委員交流会が
 開かれました。参加者は、
 新旧執行委員をはじめ、人
 権部の先生、職員組合の合
 唱団メンバーなど18名でし
 た。

委員長挨拶・乾杯、食事
 の後、合唱団の日頃の練習
 の成果を披露しました。
 十八番の「アメイジング
 グレイス」など数曲をとて
 も気持ち良く歌いました。



そして、合唱の先生である
 加藤晴子さんより、「夏の思
 出」「浜辺の歌」「ローレライ」
 のソプラノ独唱をいただき、
 うつとりと聴きほれてしま
 いました。

その後も、歓談と歌を交え
 た楽しい宴が続き、最後に、
 各人が自己紹介を行い、組合
 活動に対する思いなどをざっ
 くばらんに語り合いました。
 2時間がとても短く感じら
 れた楽しい交流会でした。

(広報部・村上)

緊急報告

地域給問題とは何かー岡山は0%地域ー

全大教の第36回定期大会で、表記問題にいかに取り組むかが問題となっていました。この問題について緊急報告をします。(中富)

人勸の内容

人事院は今年5月に「給与構造の基本的見直しについて(措置案)」を発表しました。そこにはその目的が次のように述べられています。「地域の公務員給与がそれぞれ地域の民間賃金水準をより適切に反映したものとなるよう、民間賃金の低い地域と民間賃金の高い地域との賃金格差を踏まえ、俸給水準を5%程度引き下げることとする。同時に、年功的な給与水準を抑制し、職務・職責に応じた給与とするため、級構成、号俸構成及び水準カーブの改正を行う」と。

この結果、まず全国最低地域に合わせたベース給(基本給与の5%引き下げ)が設定され、さらに30代半ば以降についてはさらに2%を限度として引き下げが行われます。

その後地域ごとに地域手当が配分されます。このため東京の18%地域を筆頭に7段階の地域が定められます。

また、広域異動手当の新設、勤務実績の給与への反映(勤務

成績に基づく昇級制度、勤勉手当への実績反映の拡大等)、その他(専門スタッフ職俸給表の新設、管理職の役職手当の定額制、本府省手当の新設)が措置される予定です。

この広域異動手当により、本省キャリアへの打撃は少なくない、本府省手当の新設により、キャリア官僚には手厚い配慮がなされます。

では、岡山大学はどう変わるのでしょうか。これまで給与は、官民給与の全国平均水準をベースに設定されてきました。これに岡山大学では3%の都市手当がついていたわけです。これに対し、今回の案によれば、ベースは、全国最低地域とすることになり従来より5%ダウンします。そして岡山地域は0%地域とされていますので地域手当はつきません。ということはこれで、8%のダウンが予測されるということになります。その上、30代半ば以降は2%を限度にさらなるダウンが見込まれるということになります。(つづく)



熱戦!

法文経組合ソフトボール大会

7月上旬から中旬にかけて、法文経組合ソフトボール大会が行われ、法学部が事務を破り優勝しました。

法学部の圧倒的な強さが印象に残った大会でした。

7月の突然の長雨で試合が何度も延期になりましたが、皆様の奮闘で大いに盛り上がった大会でした。



予選

事務 17 - 文学部 11
法学部 21 - 経済学部 3

3位決定戦

経済学部 11 - 文学部 5

決勝戦

法学部 17 - 事務 5

座標軸

木山事務所公演「はだしのゲン」を見た。舞台空間という限定の中で、「ピカ」の悪魔的な恐怖感を見事に再現しているのに感心した。それよりも感心したのは、この戦争が、朝鮮の人々に強い無惨な犠牲を、はつきりと描ききっている点である。当時の日常的な飢えや厭戦気分などが見事に再現されつつ、ゲンほか子どもたちの明るさが、それを乗り越え、未来への希望を感じさせる舞台にも好感を抱いた。この時代のことは、風化しつつあるとはいえ、私たちの世代にとっては、あらゆる思考や感情の根底に、こうした体験が居座っている。最近の若者たちも、ゲンに劣らさずなげで、未来を見つめて頑張っている。ただ、私たちの決定的な違いは、今の若者には、あの飢えや恐怖は、やはり、想像の世界のことにすぎない点である。この違いをはつきりと意識して、だから私たちはこう考えるのだ、といった解説を懇切丁寧に繰り返すこと、それが、過去を語り継いで風化させない知恵だと思う。(い)

大雨や台風の被害が
心配な季節...

教職員共済の「総合共済」と
「火災共済」で安心を

総合共済 全壊・流出... 100万円
半壊～一部壊... 40万円
1万円
床上浸水... 6万円～40万円
火災共済
全壊... 一口あたり4.5万円
半壊～一部壊... 一口あたり2.5万円

掛金 総合共済 月800円
火災共済
一口(最高10万円保障)
木造建築 70円
耐火建物 35円

詳しくは組合(内線7168)
または、
教職員共済大学支部

0120-628-095へ

全大教第17回教研集会に参加しよう!

日程: 9月30日(金)午後1時～
10月2日(日)午後1時

会場: 名古屋大学

テーマ: 法人化1年 - 大学・高等教育の現状と課題
記念講演: 未定

- A1. 大学教育問題
- A2. 法人制度下における労働関係
- A3. 大学財政問題
- B1. 法人制度化における大学の自治・自立的機能のあり
- B2. 大学と地域社会
- B3. 組織づくりと組合のあり方
- B4. 大学光線における男女共同参画の実現
- B5. 図書館職員
- B6. 事務職員
- B7. 技術職員
- B8. 大学共同利用研究機構
- B9. 附属学校
- B10. 「非常勤職員」交流会

組合員のみなさん、多数、ご参加ください。
・・・お問い合わせは組合事務所まで・・・

さんぽみち

梅雨が明けたかと思うと、猛暑がやってきた。新生児をかかえて、息子たちがやってきた。もう夏休みだというのである。

夏休みパパの顔した

研究者 千枝子

息子夫婦と孫に我が家を明け渡して、私たち老夫婦は、信濃路に遊んだ。信州大学のK教授訪問を兼ねての小旅行である。

面談が終わったあと、大学時代の友だちが村長になっているS村を訪ねた。文字通り役場の名にぴったりの質素な村長室に請じ入れられた私たちは、過疎対策のために、若者夫婦用の村営住宅を建設した話など、苦勞話をたっぷりと聞かされた。

村長のA君は、わたしの俄勉強によれば、かつてその地域の豪族青柳家の血を引く子孫であった。「世が世なら、殿様だったんだね」という私の軽口をとくに否定するでもなく、甲斐・信濃の両巨大勢力に挟まれた弱小集団の悲哀は、今も昔も変わらないさと受け流しながら、「どちらかにつかざるを得ないのが

運命だ」とため息をついた。

本場アルプスを頂くスイスでは、誇り高い山の民が連合して平和国家を維持しているの思い起こしたけれど、私は何も言わなかった。

S村を辞して、私たちは長駆小諸まで車を飛ばした。愛読詩集の中の地名は、心地よい七五調の中だけの存在だった。一度は古城のほとりに佇んでみたいという希望が、今回の信濃行きに隠された動機だった。

だが、「ほとり」という語から誘われた、勝手な「水際」といった連想は、実際には、白昼の夢であった。狭い木立の中の天守閣址が、蝉時雨の中にひっそりと横たわっていた。

小諸なる古城の狭き

天守址

(k)

編集後記

教職員の賃金問題が表面化しつつあります。これは、組合として最も重要かつ難しい問題であり、交渉能力が真に試される場面が、近いうちにやって来るでしょう。その際には、執行委員だけでなく、多くの組合員の方からの知恵と、協力をいただく必要があると思います。(む)